



Joint Media Release

2018年5月9日

この資料はBASF本社が2018年4月9日に発表した英語のプレスリリースをBASFジャパンが日本語に 翻訳・編集したものです。

ILJINとBASF スチールとプラスチックを融合させた 世界初のハイブリッド・サスペンションアームを発表

- スチールとBASFのポリアミド Ultramid®で作られたハイブリッド・サスペンションアーム
- 従来のスタンピングで作られるものと比べてアームが15%軽量化
- ステアリング性能とダンピング性能が向上し、より快適な乗り心地を実現

韓国を拠点とするホイールベアリング・メーカーILJINは、BASFの高性能ポリマーを利用してスチールと融合させた、世界初となる電気自動車用ハイブリッド・サスペンションアームを発表しました。このサスペンションアームにはBASFのUltramid®(ウルトラミッド)ポリアミド(PA6 50%ガラス繊維強化グレード)が使用されており、スチールスタンピングで製造された従来製品比で15%の軽量化を実現しました。

コントロールアームとボールジョイントの組み合わせは、車のサスペンションシステムにおける重要な要素です。ボールジョイントは、コントロールアームをステアリングナックルにつなぐ球状のベアリングです。エンジニアリングプラスチックであるウルトラミッドで作られたボールジョイントは摩擦を大幅に低減し、ステアリング性能を向上させます。また、ダンピング性能も従来のメタル製アームと比べて優れており、より快適な乗り心地を実現します。

BASF アジア太平洋地域 パフォーマンスマテリアルズ事業本部シニア・バイスプレジデントのアンディ・ポスルスウェイトは次のように述べています。「今回の提携は、BASFのサステイナブル・モビリティへの貢献を示しています。私たちはILJINのようなパートナー企業と力を合わせ、燃費効率の良さと優れた性能の両方を備えた、新しい軽量ソリューションを市場に届けることを目指しています。」



BASF 独自の CAE(コンピューター援用工学)解析ツール、Ultrasim[®](ウルトラシム)を使用することで、ハイブリッド・サスペンションアームの開発が可能となりました。このツールは、ハイブリッド・サスペンションアームにかかる高レベルの圧力に耐えられるよう、コンポーネントの設計を最適化するのに役立ちます。

ILJIN の研究開発センターの責任者兼エグゼクティブディレクターの Y.C. リー氏は、次のように述べています。「BASF の軽量ソリューションは、車のエネルギー効率を高めるだけでなく、ワンショット射出成形プロセスで生産の合理化を実現しています。」

※このプレスリリースの内容および解釈については英語のオリジナルが優先されます。

■ILJIN について

1973 年の設立以来、ILJIN は成長とイノベーションで世界のホイールベアリング市場をリードしてきました。韓国に本拠を置くグローバル企業として、世界に 32 以上の拠点をもち、合計 6,300 名の従業員を擁しています。世界の大手自動車メーカー向け第 3 世代ホイールベアリングの市場シェアは 31% で世界一を誇ります。2017 年のベアリングとシャーシコンポーネント事業の売上高は、26 億ドルを達成しました。お客様を大切にすることで顧客満足度を高め、クリエイティブなイノベーション管理に基づいて全社で品質に取り組む。ILJIN はお客様にとって最高レベルの価値を実現する世界有数の企業です。ILJIN に関する詳細につきましては、www.iljin.com をご覧ください。

■BASF について

BASF(ビーエーエスエフ)は、ドイツ ルートヴィヒスハーフェンに本社を置く、世界をリードする化学会社です。持続可能な将来のために化学でいい関係をつくることを企業目的とし、環境保護と社会的責任の追及、経済的な成功の 3 つを同時に果たしています。また、全世界で 115,000 人以上の社員を有し、世界中のほぼすべての産業に関わるお客様に貢献できるよう努めています。製品ポートフォリオは化学品、高性能製品、機能性材料、農業関連製品、石油・ガスの 5 つの事業部門から成ります。2017 年の BASF の売上高は約 645 億ユーロでした。BASF は、フランクフルト(BAS)、ロンドン(BFA)およびチューリッヒ(BAS)の証券取引所に上場しています。BASF の詳しい情報は、www.basf.com(英語)をご覧ください。